

張一兵先生（南京大学廣松渉研究所長）

「マルクスへ帰れ」出版記念会案内

<日本・中国—社会科学文化交流>

張一兵先生「マルクスへ帰れ」出版記念会（立食パーティー）
——久しぶりにマルクスをめぐる本格的な議論が始まる。

<7月27日（土）> 5時45分開場、6時開始～8時終了

挨拶：廣松邦子・吉田憲夫

講演：張一兵

発言：多数—質疑応答：（交流会でも継続）

お礼：大下敦史（情況出版）

*中大大学駿河台記念館：610教室

*会費：1万円（「マルクスへ帰れ」（728頁）＝本代6500円込）
（学生・院生割引6000円＝本代込）

*2次会：8時15分<張先生との交流・議論>

（場所「祭」（03-3233-3332）、御茶ノ水駅：明大側から2分、
東京都ガン検診センター・出版健保会館の向かい）

<主催>情況出版

<出欠のお願い>

定員が限られております。事前にお知らせください。

jokyo@cup.com（大下090-1805-8127）（佐藤03-5213-3238）

<筆者紹介>

張一兵（本名：張異賓）1956年3月南京生まれ。1981年南京大学哲学部哲学科卒業、南京大学副学長、中国マルクス・エンゲルス研究会常務理事、中国弁証法的唯物論学会常務理事など。南京大学廣松渉研究所創設、所長。

代表作：「マルクスへ帰れ」（初版。江蘇人民出版社、1999年）「レーニンに帰れ——哲学ノートへのポスト・テクニク学的解読」（江蘇人民出版社：2008年）、「不可能な存在の真実——ラカン哲学の映像」（商務印書館、2006年）「問題構制、徴候的解読とイデオロギー——アルチュセールに関するテクニク学的解読」（中央編訳出版社、2003年）「無調式弁証法の想

像力——アドルノ〈否定弁証法〉のテキスト学的解読」(三聯書店(北京)2001年)など多数。

(中野英夫会員申請)